

国語科学習指導略案

3年3組 36名 指導者 赤石裕樹

本授業では、以下の検証を行うものである。
 登場人物の行動や会話などの叙述をもとに、登場人物の性格や人柄、気持ちの変化などを想像して読み、友達と互いにかかわり合いながら、自分の考えを深めることができたか。

- 1 単元 読んで、考えたことを発表しよう 「海をかつとばせ」 / 「本は友だち」
 2 指導計画 (総時数9時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
課題をつかむ	1 関連図書「海をあげるよ」(山下明生作)を読み聞かせ、ファンタジーの世界を楽しませる。	1
	2 リーフレットのモデルを提示し、「自分も作ってみたい。」という思いを膨らませながら、学習課題を設定し、学習計画を協議する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ファンタジー作品のおもしろさが伝わるようなリーフレットを作ろう。</div> 【関：人物と自分を比べながら意欲的にファンタジー作品を読もうとしている。】	1
情報情報をもとに考える	3 教材「海をかつとばせ」を読み、初発の感想をもとに、リーフレットの『表紙』を作成する。 <div style="text-align: right;">《イラスト係》</div>	1
	4 教材「海をかつとばせ」をもとに、ファンタジーの構造を捉え、リーフレットの『あらすじ』コーナーを作成する。 <div style="text-align: right;">《照明係》</div>	1
	5 「ワタル」の行動や会話などの叙述をもとに、「ワタル」の人物像を捉え、リーフレットの『プロフィール』コーナーを作成する。 <div style="text-align: right;">《思い出し係》</div>	1
	6 「ワタル」の人物像をもとに、ワタルの気持ちの変化を想像して読み、リーフレットの『感想』コーナーを作成する。 <div style="text-align: right;">《思い出し係》</div>	1 (本時)
	7 教材「海をかつとばせ」で疑問に思ったことを出し合い、自分なりの答えを考え、リーフレットの『作品のひみつ』コーナーを作成する。 <div style="text-align: right;">《質問係》</div> 【読：登場人物の行動や会話などの叙述をもとに、性格や気持ちの変化などを想像して読んでいる。】	1
主体的に表現する	8 気に入ったファンタジー作品を選び、人物の性格や人柄、気持ちの変化などがよく分かるリーフレットを作成し、感想を伝え合う。 【読：自分の考えや考えの根拠となる叙述を明確にしなが、人物と自分を比べながら読んでいる。】 【読：文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気付いている。】	2

3 本時 (6/9)

(1) 目標

登場人物の行動や会話などの叙述をもとに、登場人物の性格や人柄、気持ちの変化などを想像して読み、自分の考えをもつことができるようにする。

(2) 評価規準

自分と比べながら「ワタル」の性格や気持ちの変化を読み、感想を深めることができている。

【読む能力】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、司会団が進行を行いながら、前時で学習した『プロフィール』コーナーについて振り返らせる。また、教師の補説では初発の感想を全員分示し、感想が「すごい。」や「おもしろい。」などといった簡単な言葉でしか表現されていないことに気付かせ、課題意識を明確にもたせる。

「調べる」過程では、「ワタル」の性格や気持ちの変化などを、作品全体から関連付けて捉えることができるよう全文シートを活用させる。また、感想カードを活用させることで自分と「ワタル」を比べて読む観点を示し、感想をもてるようにする。更に、『感想』コーナーをまとめる際には、字数の目安を示すことで、複数の感想を組み合わせて書く必要があることに気付かせる。

「まとめる・振り返る」過程では、司会団への称賛やかかわり合うことで相互に読みを深めることができた喜びを実感させ、自信につなげるようにする。

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
つかむ 見通す	7	みんな で	<p>1 司会団が前時の振り返りをする。</p> <p>2 司会団がめあてや本時の学習の流れを確認する。</p> <p>「読んだことをリーフレットの『感想』コーナーにまとめよう。」</p> <p>3 教師の補説を聞く。</p> <p>・前時に学習した『プロフィール』コーナーを生かして考えるんだな。</p> <p>・感想カードを使うと、「ワタルのすごいところ」が見つかりそうだな。</p>	<p>学習計画表やリーフレットを活用することで、本時の学習の見通しをもたせる。</p> <p>リーフレットのモデル</p>
調 べ る	5	一人 で	<p>4 グループディスカッションをする。</p> <p>「ワタルのすごいところはどこだろうか。」</p> <p>(1) 感想カードを使って、「ワタル」と自分を比べて一人で読む。</p> <p>・雨が降っても練習をするところが、自分と違ってがんばり屋だな。</p> <p>・もし、自分だったら流木がクビナガリュウに見えたら、練習をやめるのに、「ワタル」は勇気があるな。</p>	<p>全員分の初発の感想を提示し、多くの子どもが「すごい。」や「おもしろい。」などの簡単な言葉でしか感想を書けていないことに気付かせることで課題意識を明確にもたせる。</p> <p>全文シート 感想カード</p>
	7	グル ープ で	<p>(2) グループで感想カードを並べたり、分類したりして、ワタルのすごいところをキーワードとして書く。</p> <p><予想されるキーワード></p> <p>・がんばり屋 ・勇気がある ・努力家 ・負けず嫌い ・がまん強い</p> <p>(3) グループディスカッションでまとめたことを全体に紹介する。</p>	<p>教材文を1枚にまとめた全文シートを用意することで、登場人物の性格や気持ちの変化などを、作品全体から関連付けて読むことができるようにする。</p> <p>感想カードを全員に活用させることで、子どもが自分と登場人物を比べて読むことができるようにする。</p> <p>ホワイトボード</p>
ま と め る 振 り 返 る	8	みんな で	<p>5 ディスカッションを通して、感じたことを『感想』コーナーにまとめる。</p> <p>「ワタル」は、自分とは違うところがあります。それは、流木がクビナガリュウみたいに見えたのに、がまんして練習をしたところです。もし、自分だったら、逃げ出すと思います。自分も「ワタル」みたいにこわくてもがまんでできるようになりたいです。</p>	<p>※ 自分と比べながら「ワタル」の性格や気持ちの変化を読み、感想を深めている。 (リーフレットへの書き込みの分析)</p> <p>○ 感想を深めることができている子どもには、分量を増やし、『感想』カードの並び順を工夫させるようにする。</p> <p>○ 感想を深めることができていない子どもには、「もし、自分だったら」などの考えやすいカードから学習を進めさせるようにする。</p>
	10	一人 で	<p>6 教師からまとめの補説を聞く。</p> <p>7 司会団が今日の学習で学んだことをまとめる。</p> <p>・人物と自分を比べながら読むと、人物らしさが深く読み取れる。</p> <p>・いろいろな観点から、感想をもつことで、読む人に伝わる感想を書くことができる。</p> <p>・もっとたくさん言葉を使えるようになるために、国語辞典を活用しよう。</p> <p>8 司会団が振り返りと次時の学習の確認をする。</p>	<p>たくさんの言葉を知っていると、感想が豊かになることに気付かせ、授業で積極的に国語事典を活用しようとする態度を育てる。</p> <p>学習計画表 リーフレットのモデル</p>